

工場作業場騒音の低減（クラッシャー騒音）事例

プラスチックの成型工場作業場の防音施工事例である。この工場では、プラスチック部品の製造工程不良品を工場場内にある不良品投入口に投入、地下に設置した粉碎機（クラッシャー）で粉碎し原材料に戻し利用している。

地下に設置されたクラッシャー本体の騒音は非常に大きく、不良品投入口から作業員がいる工場内部に放射され、工場内部で 100dB 近い騒音値になっていた（作業環境基準；第Ⅲ管理区分）。作業員は、聴力保護のため耳栓をして作業を行うことを強いられ、作業員同士の会話が不自由で作業の能率が低下する状態にあった。

当社では、現場の騒音測定、対策案提示、防音材供給を実施し騒音値を 7dB 低減し 90dB 以下（作業環境基準；第Ⅱ管理区分）に改善することができた。



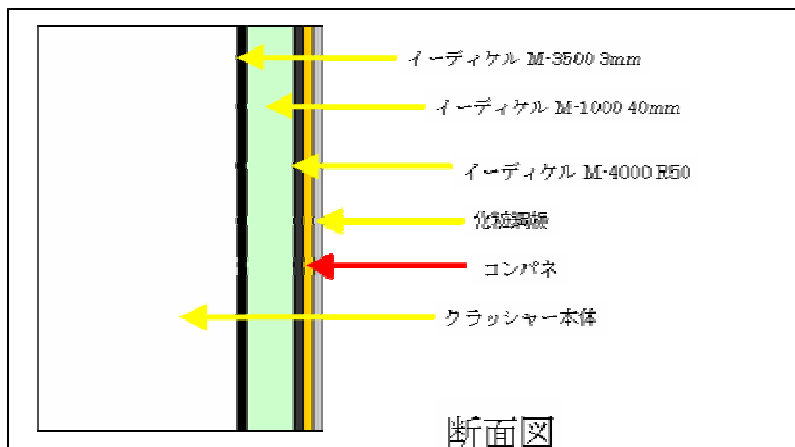
対策前のクラッシャー投入口

目的

- ①作業環境基準の第Ⅲ管理部分の作業場を第Ⅱ管理区分に改良する。

対策概要

- ①当社が出張し騒音測定後に低減案を提示。右図参照
- ②防音材（イーディケル M-3500、M-1000、M-4000）を出荷。
- ③当社技術者立会いの下で防音材施工。（添付資料に施工状態の写真を示す）
- ④施工終了後、再度騒音測定。



断面図

効果

- ・ 施工終了後、再測定で 7dB 低減していることを確認、結果をレポート化し送付。（右図参照）
- ・ 工場担当者から感謝の言葉をいただく。

